

科目分類	専門分野	学 年	1 年	担当教員の氏名・職名
授 業 科 目 名	看護学概論Ⅱ (看護の理論)	学 期	前 期	西田 和美 (看護教員)
		単 位 数	1	
		時 間 数	16	
目 的 (ねらい)	歴史上の出来事と看護の関連性、健康・看護に関する人々の考え方など、看護の発展における背景を学ぶことで、歴史ある看護への関心を高める。また、看護理論とは何かを学び、主だった理論家の看護に対する捉え方を理解することで、自らの看護に対する考えを深める。			
目 標	1. 看護の歴史を学ぶことで看護が発展した背景を理解する。 2. 看護理論とは何かを理解する。 3. 主な理論家とその理論の概要を理解する。			
授 業 計 画	回数	単元項目	内容	授業形態
	1	看護の歴史①	原始、古代、中世の出来事と看護	講義
	2	②	近世の出来事と看護 (ナイチンゲール) 我が国の仏教看護 講義	
	3	③	近代～今日の出来事と看護	講義
	4	看護における諸理論	看護理論とは 看護理論を使用する目的 周辺理論(ニード論、発達理論、危機理論)	講義
	5	ナイチンゲール理論①	ナイチンゲールの看護の捉え方 (序論)	講義
	6	②	(本論)	講義
	7	ヘンダーソン理論	ヘンダーソンの看護の捉え方	講義
	8	その他の理論家の理論	その他理論家と看護の捉え方 講義/グループワーク	
教 科 書	看護史 (医学書院)、看護学概論 (医学書院)、 F. ナイチンゲール, 湯楨ます訳:看護覚え書き (現代社)、 V. ヘンダーソン, 湯楨ます, 小玉香津子訳:看護の基本となるもの (日本看護協会出版会)			
参 考 文 献	必要に応じて資料配布、紹介をする。			
評 価 方 法	定期試験 100%で評価する			
関 連 科 目	人間関係論、生活科学、心理学、社会福祉と法規、看護関係法規、成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学、在宅看護論			
自 己 学 習 に 関 する 指 針	該当授業の教科書を事前に読んでおきましょう。 授業で示す課題やグループワークに積極的に参加し、意見交換しましょう。			
そ の 他 の 通 知 事 項				